



自民党

京都市会議員団ニュース

発行人／橋村芳和 編集委員／田中たかのり、谷口みゆき、山本しゅうじ 〒604-8571 京都市中京区河原町御池 TEL.075(222)3718 FAX.075(257)3091

<http://jimin-kyoto.jp/>

No.89

京都基本構想の策定

11月市会

京都とは何か
何を未来に引き継ぐのか

CONTENTS

- 1面 11月市会 京都基本構想の策定
中央省庁へ予算要望
- 2面 代表質問 田中明秀 議員
みちはた弘之 議員
- 3面 代表質問 井上よしひろ 議員
12月市会 補正予算
- 4面 25年後を見据えた
京都基本構想について

京都市は、市政の基本方針である「**京都市基本構想(2001-2025)**」とその具体化を図る「**京都市基本計画**」を策定し、文化を基軸とした都市経営を進めてきました。

しかしながら、予測が難しく、変化が激しい現代社会において、**引き続き、時代に左右されない京都のまちの基軸、羅針盤となるもの**を策定し、効率的に行政運営を行っていく必要があることから、**今後25年間を展望し、京都市と市民のあり方を示す「京都基本構想(2026-2050)」**が新たに提案されました。

この構想は、京都独自の3つの価値・思想

- ① 歴史と文化を介して人間性を回復できるまち
- ② 自然への畏敬と感謝の念を抱けるまち
- ③ 自他の生をともに肯定し尊重し合えるまち

の序文から始まり、第1章「策定の背景」、第2章「京都のかたち」、第3章「世界・日本・京都市のいまと未来への課題」、第4章「市民がめざすまち」、第5章「市民のこれから」、最後は「未来への問いかけ」という形で締めくくっています。

われわれは、京都市会に設置された『京都基本構想審査特別委員会』での議論も踏まえ、京都基本構想の策定に賛成しました。今後、構想を単に承認して終えるのではなく、理念を現場に根づかせ、市民の皆様お一人お一人に届くものとするため、これからも不断の検証と提案を重ねてまいります。

京都基本構想審査特別委員会(自由民主党京都市会議員団)のメンバー

寺田一博委員長 橋村芳和委員 津田大三委員 田中明秀委員
しまもと京司委員 加藤昌洋委員 谷口みゆき委員

主な議論

- 京都基本構想の理念を政策に落とし込み具体化する方針
- 京都基本構想案の主語である京都市民の概念
- 京都学藝衆構想の内容及び具体的な目的
- 今後25年間の京都市が目指す方向性を市民にしっかりと受け止めていただく必要性
- 多様な人々が集う京都のまちが大切にするものとして京都基本構想を共有する考え



詳しくはこちら

各議員の京都基本構想への想いは4面へ

京都市会最大会派の責任として

11月19日～20日

中央省庁へ予算要望

政策実現へ前進!

各班の訪問先(省庁)と重点要望内容

1班



総務省

地方交付税の必要額の確保(地方財源の安定化)

国土交通省

市民優先価格(市バス等)実現支援、国土強靱化・社会基盤整備

観光庁

民泊に関する法改正も含めた制度見直し

2班



法務省

国有地(京都刑務所、京都拘置所、京都運輸支局など)有効活用を検討

厚生労働省

福祉人材の処遇改善、物価高を踏まえた福祉施設等への支援

経済産業省・中小企業庁

中小企業の成長・事業継続に向けた支援

3班



内閣官房・内閣府

地方創生交付金の安定的な確保

こども家庭庁

保育士・幼稚園教諭等の更なる処遇改善

デジタル庁

自治体情報システム標準化に向けた財政措置等の課題解決

文部科学省

学校施設の空調設備更新・新設への財政支援充実

文化庁

文化芸術に対する一層の支援



AIを活用した交通誘導システム

AI交通誘導など 生産性向上の実績

Q 井上よしひろ議員（質問）

生産年齢人口の減少に伴う全国的な担い手不足の中、デジタル技術の活用が最も期待される分野の一つが建設業です。道路や河川、公園等のインフラの維持管理や防災・減災に関する業務に従事されている「地域建設業」においては、労働環境が他業種と比較して厳しく、若者が入職・定着しづらい、就業者の高齢化が進行する等、担い手不足が喫緊の課題となっています。そのような中、例えば、国道162号川東地区では、AIを活用した交通誘導に取り組み

を広く市内外に伝え、後世に遺していきたいと考えております。

理念と現実の間にある課題を乗り越え、京都の本物（ほんまもん）の価値を継承し、高める施策に重点的に配分してまいります。

自由民主党市会議員団からのご要望についても、まちを発展させ、市民の皆様が希望を持っていたくださいと観点で、京都基本構想案と方向性を一にしましたものと考えており、これらも踏まえつつ、施策を検討してまいります。

公園は市民の憩いの場 トイレ環境の整備推進

Q 井上よしひろ議員（質問）

公園は、誰もが憩いや安らぎ、リフレッシュを求めて訪れる施設。多くの方が気軽に立ち寄れる、魅力ある公園づくりをより一層進めていくためにも、誰もが安心して利用できるトイレ環境への改修を進めていくべきだと考えますが、いかがでしょうか。

A 岡田憲和副市長（答弁）

ベビーカーの設置やオストメイ

ト対応など、公衆トイレ設備のアップグレードは宿泊税の活用も含め前向きに検討していきます。今後とも公衆トイレを安心快適に利用できるよう部局横断で取り組みます。

A 松井孝治市長（答弁）

若手・中堅世代の退団者を減少させる取組に注力する必要があります。全消防団員に対してアンケートを実施し、その結果を基に、来年度以降、消防団のDXの推進を図り、活動の効率化や負担軽減に取り組めます。具体的には、消防団専用アプリの導入や、消防団施設への通信環境整備などを検討中です。

消防団員の負担軽減
退団者の歯止め注力

Q 井上よしひろ議員（質問）

消防団員は全国的に減少しており、本市においても、減少傾向であり消防団員の確保は喫緊の課題です。デジタル技術を活用し、活動の効率化を図るなど、消防団員の負担を軽減し、活動しやすい環境づくりに取り組む必要があると考えます。

A 松井孝治市長（答弁）

今後、長期間にわたり活動を継続できる環境を整える事が重要。消防団のDXをはじめ、どのように消防団業務を効率化し、充実強化に取り組んでいけるのでしょうか。

地域建設業の人材確保 DX・AIの活用で活路を

井上よしひろ議員の代表質問

- ① 「京都ファン」の更なる獲得に向けた取組について
- ② 公共トイレのアップグレードについて
- ③ 市役所業務におけるAIを活用した生産性向上について
- ④ 建設分野におけるDX導入による生産性向上について
- ⑤ 消防団員の負担軽減に向けたDX導入について



右京区 井上よしひろ 議員

今市会で提案しております京都基本構想案では、京都が大切にしてきた価値観やまちな柄、今後四半世紀で目指す姿をお示ししており、京都の多彩な学藝を取り巻く人々のつながりを活かして夢中になれる学びの場を創出し、幅広い世代が学び合う京都が、藝文構想の展開などを通じて、まちが醸成してきた唯一無二の価値

A 松井孝治市長（答弁）

を広く市内外に伝え、後世に遺していきたいと考えております。

理念と現実の間にある課題を乗り越え、京都の本物（ほんまもん）の価値を継承し、高める施策に重点的に配分してまいります。

自由民主党市会議員団からのご要望についても、まちを発展させ、市民の皆様が希望を持っていたくださいと観点で、京都基本構想案と方向性を一にしましたものと考えており、これらも踏まえつつ、施策を検討してまいります。

都市交通の未来に向け 自動運転活用展望

Q 田中明秀議員（質問）

優れた道路環境が整う洛西地域でこそ、自動運転技術を活用した新たな公共交通システムを構築することが期待できるのではないのでしょうか。洛西地域における実現の可能性について伺います。



自動運転バスの視察

自動運転バスは、都市の成長と発展のために欠かせない公共交通の維持、確保、ひいては利便性の高い新たな交通システムを中心とした「人と公共交通優先」の道路交通への転換にも繋がると考えています。

自動運転バスの実証実験は、道路環境等を総合的に考慮し、かねてから議員ご推薦の洛西地域で実施することといたします。

「洛西SAI-KOPプロジェクト」とも連携し、まず、洛西地域での実装化を進めてまいります。

令和8年度 予算編成について

Q 田中明秀議員（質問）

市民の皆様が「希望を抱いていた」で、そんな思いを込めた我が会派の令和8年度予算に対する要望書をしっかりと踏まえていただき、財政規律を堅持する中においても、必要な施策にはしっかりと財源を配分していただきたいと考えますが、令和8年度予算編成に向けた市長のお考えをお聞かせください。

令和8年度予算編成について
今後の保健福祉行政の推進について
民泊対策について
市民が集い、つながる場としての公共空間の更なる活用について
マンション居住者の町内会・自治会への加入促進について
自転車への青切符制度導入を契機とした、自転車の安全利用環境の充実について
洛西地域における自動運転バスの導入について



西京区 田中明秀 議員

本物の価値を継承し、高める 京都基本構想案

ほんまもん

私立幼稚園への保護者への支援について
保育士の処遇改善及び障害児保育の充実について
英語教育の更なる推進について
地下鉄駅のエレベーターの増設について
市バス・地下鉄の定期券購入に係る利便性向上について
今後の下水道事業について
伏見大手筋商店街西側へのタクシー乗り場の設置について（要望）



伏見区 みちはた弘之 議員

少子化進む教育保育の 質的向上へ支援を検討

私立幼稚園へや多子 世帯への支援も検討

Q みちはた弘之議員（質問）

幼児教育・保育の多様な選択肢を保障する観点から、特に私立幼稚園を希望する保護者の負担軽減策を検討することは、本市の子育て支援を一層前進させる明確なメッセージになると考えますが、市長の見解を伺います。

A 松井孝治市長（答弁）

本市には、幼稚園をはじめ多様な幼児教育・保育施設があり、保護者が安心して預けられる選択肢を確保することが重要と認識しております。私立幼稚園では、建学の精神に基づく特色ある教育に加え、約7割の園が3歳未満児の受け入れや子育て支援に取り組んでおられ、多子世帯の負担軽減に向けた要望も頂いております。少子化が進み、待機児童対策からの転換が求められる中、「質の高い特色ある教育」という本来の役割を十分に発

揮いただけるよう、第2子以降の保育料無償化に加え、多子世帯や私立幼稚園への必要な支援の検討を進めてまいります。

保育園等の処遇改善 障害児保育も充実を

Q みちはた弘之議員（質問）

保育士が希望とやりがいを持って長く働ける環境整備（処遇改善等）と障害児保育の拡充を総合的に推進することが、全ての子どもが安心して通える保育環境の実現につながると考えます。質の高い保育と子どものウェルビーイング向上に向けた今後の取組方針について、市長の見解を伺います。

A 松井孝治市長（答弁）

本市では、保育士等の人材確保と長く働き続けられる職場環境の実現を目指し、国基準を上回る配置や人件費補助など独自の処遇改善を進め、昨年度には更なる充実を図ってきたところです。一方、全国的な担い手不足と、障害の



保育の現場で笑顔いっぱいおまごとの時間

【代表質問】

11月市会（11月28日）

年末まで議会開催

12月特別市会

市民生活応援
3本の矢

地域ポイント
子育て応援
くらし応援

市民の皆さまに、
1日でも早く届くように強く要望!!

物価高対策として補正予算を可決

12月16日に成立した国の補正予算(物価高の影響を緩和するための国の経済対策(重点支援地方交付金の拡充)を受け、京都市会は、市民生活を支援するため、12月24日から26日に12月特別市会を開会。以下の補正予算を審議・可決しました。

市民生活応援
デジタル地域ポイント
の給付

市内店舗において
食料品や日用品の購入などに利用できる
デジタル地域ポイント
(1人当たり5,000円相当を給付)

子育て世帯
(国が示す給付額に市独自上乗せ)や
低所得者への支援の充実に
焦点を充てた理由

幅広い地域店舗との
連携により京都経済の
底上げに繋げる必要性

予算額を上回る
申請があった際には
全ての申請者に
支給できるよう
取り組む必要性

京都市物価高対応
子育て応援手当の給付

児童1人あたり国の定める
20,000円の給付に加え、
市独自に5,000円上乗せ

京都市くらし応援給付金
(令和7年度住民税非課税世帯)

住民税非課税世帯に
1世帯あたり5,000円給付

未活用の
重点支援地方交付金について
今後どのような活用を
考えているのか

可能な限り
多くの市民に
一刻でも早く支援を
届ける必要性

お米券など、
他都市のような支援策を
採択しなかったのは
なぜなのか。

サポートが必要な方
(デジタルデバйд)への
サポートの必要性

アプリ開発など、
給付にかかる事務費の
負担を抑え、交付金を
有効活用する必要性

25年後を見据えた

自由民主党市会議員団に聞きました！

京都基本構想について

自民党
新キャラクター<https://www.jimin.jp/jimitan/>

山科区

富きくお

25年後も京都のまちが伝統と歴史の文化に根ざし、平和で市民が安心安全の下、健康でより豊かに幸福を実感できるまちづくりを目指し、共にその未来を構築してゆくための重要な羅針盤。



南区

桐田隆知

今後数多くの大きな変化を経験していく未来においても、京都が京都として在り続ける為、千二百年以上の歴史を経て体现された価値観や多様性を継承し、安穩と共栄を実現する責任ある指針です。



右京区

森田 守

京都市の政策が、直近な時勢や眼前の課題にのみ囚われたものではなく、この街が守り育んできた価値観に立脚したものであるよう、議会としても不断の努力を重ねていきます。



西京区

西村義直

先を見据えた政策は、極めて重要です。基本構想は、より良い京都市の実現を目指し、多くの市民の声や思いが込められており、今後の私たちの生活や暮らしを送るうえでの重要な柱となるものです。



北区

山本恵一

京都の歴史、文化、自然、先人たちの感謝や、京都が京都であり続けるための理念が強く込められている。この理念を具現化し、次世代に引き継いでいくため、議論を深めていく覚悟であります。



中京区

津田大三

基本構想が四半世紀ぶりに改定。審議会や多くの市民の意見を踏まえ、市会で議論・議決。日本人が大切にしてきた心根や思いやり、矜持を次世代に遺し、これからの京都の在り方を考える羅針盤に。



左京区

さくらい泰広

人間は自然に生かされて、自然を生きている。これは京都基本構想の序文の一節です。この構想を設計図として悠久の都京都の自然、文化、人の営みを守り、未来へ伝えなければなりません。



山科区

山本しゅうじ

偉大な先人たちから受け継いできた素晴らしい京都を次の世代に渡せるように、今を生きる私たち京都市民一人ひとりが誇りと自覚を持って行動する指針となり得る基本理念としたい。



南区

しももと京司

徹底審議してきた代表質問や提言が、この長期ビジョン・構想に結実。すべての人が自らの役割を主体的に果たしていくことが、生きがいとまちの活力、新たな価値と文化の創造に繋がります。



右京区

井上よしひろ

京都の歴史と文化を大事にしつつ、観光との調和を図り、安心して暮らせるより良い京都を地域と連携しながら築いていくことが大切です。その実現に向けて取り組んでいきます。



伏見区

橋村芳和

京都基本構想の特別委員会の委員として質疑。京都の羅針盤となる構想です。少し難解な表現もありますが、噛めば噛むほど味がでる「するめ」のような内容です。みんなで議論風発を!!



北区

谷口みゆき

日進月歩している社会情勢の中で、「わたしたち京都市民」が、直面する課題に向き合いながら、京都が京都であり続けるための「まち柄」が継承できている25年後であってほしいと願います。



中京区

加藤昌洋

25年後を見据えた理念と想いが込められた基本構想となっています。多くの方に構想を理解していただき、ともにまちづくりを行うことが必要です。議会も不断の努力を行ってまいります。



下京区

下村あきら

今後25年、京都市が目指す理想の姿を描いた京都基本構想。その理念が、京都にお住まいの人々、関わる人々の意識に浸透し、京都が世界中の人々を魅了し続ける都市であることを願う。



右京区

田中たかのり

世界文化自由都市宣言に「都市は、理想を必要とする」との言葉がある。われわれ市民一人一人の京都市の理想像を思い描き、基盤となるものとして、しっかりと周知をしなければならぬ。



西京区

田中明秀

平安京から千二百年を経た現在においても京都は日本人の心のよりどころ。節度と矜持により伝統の真髄を保全・継承して25年後も世界の中で輝く京都である為の基本構想になっています。



伏見区

みちはた弘之

人口減少や気候変動を踏まえて成立した京都基本構想の理念を市民の皆さまと共有し、その着実な推進と持続可能で豊かな市民生活の実現に向け、今後とも一層尽力してまいります。



上京区

寺田一博

市民の皆さまに伝わってこそ「構想」です。25年間の京都市政の礎となる理念と、それに込められた「想い」を市民の皆さまと共有できる様に市会としても政策を通してお伝えさせていただきます。



東山区

平山たかお

私たちが失いつつある価値観が、京都基本構想には記されている。すなわち、「日本を取り戻すための道標」が本構想だと考えています。本構想が随所に感じられる京都創りに尽力したい。